



## クラフトエッセン 協議会の概要

2025年2月18日設立

### クラフトエッセン協議会の事業内容

新たなサイト「クラフトエッセン.com」を通じた情報発信やシンポジウムの開催を主な事業として、消費者を初めとする関係者の皆様へ細胞培養食品の情報をお届けします。

#### サイトを通じた情報発信



- ・新たに立ち上げる「クラフトエッセン.com」を通じて、細胞培養食品の社会受容と社会実装に向けた情報を発信します。
- ・最近のトピックを伝える会員用メルマガを配信します。

#### シンポジウムや勉強会などの開催



- ・国内外の最新の情報を共有し、ともに考えていくシンポジウムや勉強会を開催します。
- ・細胞培養食品の今後の可能性を探るため、開発関係者による官能評価会を企画します。

#### 会員向けの相談機能



- ・細胞培養食品の研究開発や社会実装に関する様々な疑問や課題、さらに取組み方向についてともに考えます。

#### 細胞培養食品の可能性を拓くための提案



- ・細胞培養食品の可能性を見極め、社会受容と事業化を実現するための実践的な方策を提案します。

# 協議会設立の背景

本協議会は、2024年2月、オープンイノベーションで作り上げた家きん(アヒル)由来の細胞培養食品の社会受容と社会実装を実現するため、各界の高い技術力を有する企業とアカデミアによって設立されました。

細胞培養食品は、今後、世界的に逼迫が予想される食料資源における新たな選択肢の一つとして国内外で注目されており、2020年に世界で初めて培養肉の上市を実現したシンガポールを皮切りに各国における市場化の取組みが始まっております。日本でもスタートアップ企業において、2024年、アヒル細胞由来の培養食品の試験的生産が始まりました。また、国においても細胞培養食品の上市に先立つ必須のスキームと言える安全性を確認するための手続の検討が鋭意進められております。

日本で誕生したばかりの細胞培養食品は、多くの関係者の協力と期待をいただきながら、日本の技術者が地道な努力を積み重ねて丹精に作り上げてきた新たな食資源であり、クラフトエッセン、すなわち、「手作りの食事」と名付けて、本協議会の名称にしました。

本協議会は、細胞農業協会、細胞農業研究機構、バイオインダストリー協会等の関係団体と協力しながら、国内外の情報を収集し、細胞培養食品の生産技術の高度化・安定化に取り組むとともに、各界のステークホルダーとのコミュニケーションを重ねつつ、細胞培養食品の社会受容及び社会実装を進めるための真摯な情報発信に取り組みます。

そして、日本の細胞農業及び食品産業の発展に寄与し、食料の安定供給の一助になることを目指してまいります。

## | 会長からのご挨拶

私は医学者の立場から再生医療や細胞培養の研究開発に携わってきましたが、細胞農業に应用できること、また、世界の食料事情を考えると環境負荷がより小さい姿を目指すべきではないかと考えるようになりました。

2024年、日本のスタートアップ企業が世界初となるアヒル細胞由来の培養食品の試験的生産に成功しました。この生まれたばかりの細胞培養食品は、技術者が地道な努力を積み重ねて丹精に作り上げてきた新たな食素材であり、クラフトエッセン、すなわち、「手作りの食事」と名付けられて本協議会の名称にしました。

本協議会には細胞培養食品の市場化に熱意を持って取り組んできた企業に参画していただいております。それぞれの領域における強みを活かして、クラフトエッセンの上市を実現するため、種々の課題の解決に取り組んでいくことを期待しております。



東京女子医科大学  
先端生命医学研究所教授

清水 達也

## クラフトエッセン協議会へのご入会

本協議会の会員は、次の三つになります。

	団体会員	個人会員	賛助会員
種別	企業又は関係団体	アカデミア等に所属する個人	本協議会を賛助するために入会を希望する関係団体・機関等
年会費	1口 30万円 (1口単位で1口以上)	1万円	原則として、 1口 30万円 (1口単位で1口以上)

※[QRコード]は株式会社デンソーウェブ様の登録商標です。



[クラフトエッセン.com]は右のQRコード\*が、以下のURLをご参照ください。

<https://craft-essen.com>

